

農業における連携と地域づくり

—— 地域活性化を目指して ——

日本各地で取り組まれる地域活性化。そのなかで新たな成長産業としての農業に期待が集まっています。今回は「連携」「地域づくり」をテーマに、元々あるリソースを活かして新たな事業へと活用し、地域色を打ち出すことに成功した事例を紹介し、地域間・分野間等さまざまな連携が考えられるなかで、日本の農業には今後どのような展開がありうるのか、日本各地が活性化するにはどのような方策があるのかを探ります。

日時

2017年11月17日（金）開演 13:00 / 開場 12:30

会場

時事通信ホール（東京都中央区銀座5-15-8）参加定員：200名

プログラム

※公務の都合や諸事情により講演順、講演時間、閉会時間などが変更または講演自体が中止になる場合がございます。予めご了承ください。

13:00	【挨拶】 全国農業協同組合中央会 常務理事 石堂 真弘 氏
13:05	【事例紹介①】「ファーマーズマーケット（農産物直売所）を起点とした地域・自治体との取り組み」 おうみ富士農業協同組合 食育園芸部長 川端 均 氏
13:30	【事例紹介②】「新たな連携をつくった伝統ある地域資源」 赤穂市 建設経済部 地域活性化推進担当部長 永石 一彦 氏 田辺市 農林水産部 梅振興室長 廣畑 賢一 氏
13:55	【講演】 鳥取県知事 平井 伸治 氏
14:25	休憩（15分）
14:40	【基調講演】「（仮題）日本農業のこれから」 農林水産大臣 齋藤 健 氏（予定）
15:00	【新しい取り組み】「農泊の推進」 農林水産省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課長 日置 秀彦 氏
15:20	【新しい取り組み】「農山漁村地域を活性化させるインバウンド都市農村交流について」 株式会社百戦錬磨 代表取締役社長 上山 康博 氏
15:45	【パネルディスカッション】「連携・交流と地域づくり」 ・全国農協青年組織協議会 副会長 水野 喜徳 氏 ・おうみ富士農業協同組合 食育園芸部長 川端 均 氏 ・赤穂市 建設経済部 地域活性化推進担当部長 永石 一彦 氏 ・田辺市 農林水産部 梅振興室長 廣畑 賢一 氏
17:15（終了）	コメンテーター：一般社団法人口ハス・ビジネス・アライアンス 共同代表 大和田 順子 氏 コーディネーター：時事通信社 デジタル農業誌 Agrio 編集長 増田 篤